



## 2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年2月13日

上場会社名 バルテス・ホールディングス株式会社 上場取引所 東  
コード番号 4442 URL <https://www.valtes-hd.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 田中 真史  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 西村 祐一 TEL 06 (6534) 6570  
配当支払開始予定日 -  
決算補足説明資料作成の有無：有  
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2026年3月期第3四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	8,705	10.5	548	1.3	546	1.0	333	△2.5
2025年3月期第3四半期	7,876	2.7	541	3.9	541	3.9	341	12.8

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 366百万円 (7.2%) 2025年3月期第3四半期 341百万円 (13.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	16.84	-
2025年3月期第3四半期	16.96	16.96

(注) 2026年3月期において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2025年3月期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第3四半期	6,450	3,416	52.9
2025年3月期	6,499	3,253	49.8

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 3,414百万円 2025年3月期 3,239百万円

(注) 2026年3月期において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2025年3月期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	-	0.00	-	4.00	4.00
2026年3月期	-	0.00	-		
2026年3月期（予想）				4.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,000	11.2	650	△29.9	647	△30.5	390	△32.8	19.69

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有  
除外 1社 （社名）フェアネスコンサルティング株式会社

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期3Q	21,450,000株	2025年3月期	21,450,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	1,647,206株	2025年3月期	1,365,153株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期3Q	19,799,984株	2025年3月期3Q	20,157,768株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算補足説明資料は、T D n e t で同日開示しています。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書 .....	5
四半期連結包括利益計算書 .....	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動) .....	6
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	6
(セグメント情報等の注記) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、雇用・所得環境の改善を背景に、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。一方、海外情勢の不確実性や物価上昇、金融資本市場の変動などにより、経済の先行きについては注視すべき状況が続いております。

当社グループが属する情報サービス業界は、行政によるデジタル化推進やクラウド環境の導入、IoT・AI・5G・メタバース等の技術革新を背景に、DX関連のIT投資を積極的に行う企業の増加やセキュリティ需要の高まりを受け、中長期的には市場規模の拡大が継続すると見込まれております。特に近年急速に進むAI技術の拡大は、短期的にはAI利用ニーズの高まりによる事業拡大の好機となる一方で、中長期的には企業による開発の内製化の加速や労働集約型ビジネスの代替が進むことで、業界全体にとって潜在的なリスクとなり得るものと認識しております。

当社グループでは、上記AI拡大による事業機会の活用とリスク排除を目的に、かねてより開発を進めておりました生成AIテスト設計ツール「TestScape」の実装目途がついたことから、生成AI関連技術のリードを保つため、前年2月に「生成AIテストツール開発への積極投資」に基本方針を転換することといたしました。併せて前年6月、従来の計画に、これら基本方針転換によるソフトウェアテスト事業の生産性向上施策を加味し、「新中期経営計画」として新たな3か年計画を策定しております。

このような状況の下、当社グループの主力サービスであるソフトウェアテスト事業におきましては、潜在市場規模が大きく、かつ参入障壁の高いエンタープライズ系(注1)領域の開拓への注力を継続し、売上規模と利益率の向上に努めてまいりました。

当第3四半期連結累計期間においては、ソフトウェアテスト事業における営業体制整備の影響で売上高が伸びました。またタビュラ株式会社の連結組入れの影響もあり開発事業の利益率が大きく改善し、連結の売上総利益率伸長に寄与いたしました。一方で、新中期経営計画に沿って生成AIテストツール開発等の投資を推し進めたことや、タビュラ株式会社ののれん償却費、株主優待コスト等により販管費も相応に増加したため、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益ともに、ほぼ前年並みに推移いたしました。結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は8,705,788千円(前年同期比10.5%増)、営業利益は548,143千円(同1.3%増)、経常利益は546,255千円(同1.0%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は333,467千円(同2.5%減)となりました。

#### (注1) エンタープライズ系

企業の業務システムや情報システム、金融機関、病院、鉄道など大規模かつ社会基盤を支える情報システムなどに含まれ、それらの中心となる制御システムの総称

各セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

#### ①ソフトウェアテスト事業

当事業においては、近年、金融業界を中心としたエンタープライズ系領域の受注が拡大したほか、PMO(注2)・QMO(注3)として上流工程への関与及び大型マイグレーション(注4)案件への参画が増加したことにより、案件の大型化が進み、事業は順調に拡大しております。

当第3四半期連結累計期間においては、営業体制整備の効果により、外部顧客に対する売上高は7,460,867千円(前年同期比11.6%増)と堅調に推移いたしました。セグメント利益に関しては、ツールのリリースに伴う償却開始や東京本社増床等、労務コスト以外の原価が増加したことで売上総利益率がやや低下したことと、生成AIテストツール開発を含む投資を積極的に実施した結果、セグメント利益は566,983千円(同23.4%減)となりました。

#### (注2) PMO (Project Management Office)

組織内における個々のプロジェクトマネジメントの支援を横断的に行う部門や構造システム

#### (注3) QMO (Quality Management Office)

組織内における個々の品質管理の支援を横断的に行う部門や構造システム

#### (注4) マイグレーション

ソフトウェアやシステム、データなどを別の環境に移動したり、新しい環境に切り替えたりすること

#### ②開発事業

当事業においては、既存子会社の業績は堅調に推移いたしました。生成AIテストツールの開発強化によりグループ内の開発取引が大幅に増加したことにより、外部顧客に対する売上高は1,084,315千円(前年同期比1.3%増)と微増となりました。利益に関しては、タビュラ株式会社の連結組入れの影響もあり、不採算案件が発生した前年同期と比較すると大幅に改善し、セグメント利益は38,194千円(前年同期は130,211千円のセグメント損失)となりました。

#### ③セキュリティ事業

当事業においては、事業は堅調に推移し、外部顧客に対する売上高は160,605千円(前年同期比31.3%増)と伸長し、セグメント損失は2,987千円(前年同期は6,903千円のセグメント損失)と改善いたしました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は3,974,344千円となり、前連結会計年度末に比べ14,142千円減少いたしました。これは主に受取手形、売掛金及び契約資産の減少245,398千円によるものであります。固定資産は2,476,122千円となり、前連結会計年度末に比べ35,087千円減少いたしました。これは主に有形固定資産の増加69,021千円及びのれん償却等に伴う無形固定資産の減少135,152千円によるものであります。

この結果、総資産は6,450,466千円となり、前連結会計年度末に比べ49,230千円減少いたしました。

## (負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は1,850,596千円となり、前連結会計年度末に比べ709,935千円減少いたしました。これは主に短期借入金の減少500,000千円、未払法人税等の減少176,190千円及び賞与引当金の減少97,057千円によるものであります。固定負債は1,183,554千円となり、前連結会計年度末に比べ497,848千円増加いたしました。これは主に長期借入金の増加498,079千円によるものであります。

この結果、負債合計は3,034,151千円となり、前連結会計年度末に比べ212,087千円減少いたしました。

## (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は3,416,315千円となり、前連結会計年度末に比べ162,857千円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に伴い利益剰余金が333,467千円増加した一方、取得等による自己株式の増加115,464千円及び配当金の支払により利益剰余金が80,339千円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は52.9%（前連結会計年度末は49.8%）となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の通期の連結業績予想につきましては、2025年5月14日に公表いたしました当初予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,937,013	2,191,068
受取手形、売掛金及び契約資産	1,697,080	1,451,681
その他	354,392	331,594
流動資産合計	3,988,487	3,974,344
固定資産		
有形固定資産	285,975	354,996
無形固定資産		
のれん	1,348,947	1,212,204
その他	193,122	194,712
無形固定資産合計	1,542,069	1,406,916
投資その他の資産		
繰延税金資産	183,020	118,760
その他	500,143	595,447
投資その他の資産合計	683,164	714,208
固定資産合計	2,511,210	2,476,122
資産合計	6,499,697	6,450,466
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	256,258	284,690
短期借入金	815,000	315,000
1年内返済予定の長期借入金	106,006	111,949
未払金	545,190	646,107
未払法人税等	191,918	15,728
賞与引当金	219,302	122,245
受注損失引当金	390	—
株主優待引当金	—	16,590
その他	426,464	338,285
流動負債合計	2,560,531	1,850,596
固定負債		
長期借入金	684,432	1,182,512
退職給付に係る負債	60	69
その他	1,214	973
固定負債合計	685,706	1,183,554
負債合計	3,246,238	3,034,151
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	90,000	90,000
資本剰余金	810,940	814,907
利益剰余金	2,735,672	2,988,801
自己株式	△394,643	△510,108
株主資本合計	3,241,969	3,383,600
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	170	33,675
為替換算調整勘定	△2,536	△3,247
その他の包括利益累計額合計	△2,365	30,428
新株予約権	13,854	2,286
純資産合計	3,253,458	3,416,315
負債純資産合計	6,499,697	6,450,466

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	7,876,301	8,705,788
売上原価	5,603,334	6,080,199
売上総利益	2,272,967	2,625,588
販売費及び一般管理費	1,731,875	2,077,444
営業利益	541,092	548,143
営業外収益		
受取利息	128	2,016
受取手数料	2,799	—
助成金収入	2,604	4,080
為替差益	1,777	867
その他	3,238	8,300
営業外収益合計	10,548	15,265
営業外費用		
支払利息	8,732	15,041
支払保証料	307	301
自己株式取得費用	334	577
投資事業組合運用損	—	940
その他	1,244	291
営業外費用合計	10,619	17,152
経常利益	541,021	546,255
特別損失		
投資有価証券評価損	—	32,000
特別損失合計	—	32,000
税金等調整前四半期純利益	541,021	514,255
法人税、住民税及び事業税	192,810	135,085
法人税等調整額	6,284	45,702
法人税等合計	199,094	180,788
四半期純利益	341,926	333,467
親会社株主に帰属する四半期純利益	341,926	333,467

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	341,926	333,467
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	338	33,505
為替換算調整勘定	△584	△711
その他の包括利益合計	△245	32,794
四半期包括利益	341,680	366,261
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	341,680	366,261
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2025年2月14日開催の取締役会において決議した、会社法第165条第3項の規定に読み替えて適用される同法第156条の規定に基づく自己株式の市場買付により、普通株式310,800株の取得を行いました。

さらに2025年6月27日開催の取締役会において、当社の取締役及び従業員、並びに子会社の取締役及び従業員に対する譲渡制限付株式報酬として、自己株式41,374株を処分いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間において資本剰余金が3,967千円増加、自己株式が115,464千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本剰余金が814,907千円、自己株式が510,108千円となっております。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

当社の完全子会社であるバルテス・モバイルテクノロジー株式会社は、第1四半期連結会計期間に同じく完全子会社であるフェアネスコンサルティング株式会社を吸収合併しています。これにより、フェアネスコンサルティング株式会社を第1四半期連結会計期間より連結の範囲から除外しています。また、バルテス・モバイルテクノロジー株式会社は、バルテス・イノベーションズ株式会社に社名変更しています。なお、本合併は当社の完全子会社同士の合併であるため、当社の連結業績へ与える影響は軽微です。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	89,130千円	74,473千円
のれんの償却額	94,879千円	136,742千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ソフトウェア テスト	開発	セキュリティ	計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,684,037	1,069,910	122,353	7,876,301	—	7,876,301
セグメント間の内部売上高又は振替高	32,965	187,189	—	220,154	△220,154	—
計	6,717,002	1,257,100	122,353	8,096,456	△220,154	7,876,301
セグメント利益又は損失 (△)	739,728	△130,211	△6,903	602,612	△61,520	541,092

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△61,520千円は、セグメント間未実現利益の調整額等△14,754千円及び各報告セグメントに配分していない全社収益・全社費用の純額△46,766千円であります。

2. セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

3. 2026年3月期において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2025年3月期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

(子会社の取得による資産の著しい増加)

第3四半期連結会計期間において、タビュラ株式会社の株式を取得し、同社を連結の範囲に含めております。当該事象に伴い、前連結会計年度の末日に比べ、第3四半期連結会計期間末の開発セグメントのセグメント資産が870,913千円増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

第3四半期連結会計期間において、タビュラ株式会社の株式を取得し、同社を連結の範囲に含めております。当該事象に伴い、第3四半期連結累計期間において開発セグメントののれんが640,503千円増加しております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ソフトウェア テスト	開発	セキュリティ	計		
売上高						
外部顧客への売上高	7,460,867	1,084,315	160,605	8,705,788	—	8,705,788
セグメント間の内部売 上高又は振替高	46,486	382,734	546	429,767	△429,767	—
計	7,507,354	1,467,049	161,152	9,135,556	△429,767	8,705,788
セグメント利益又は損失 (△)	566,983	38,194	△2,987	602,190	△54,047	548,143

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△54,047千円は、セグメント間未実現利益の調整額等△3,874千円及び各報告セグメントに配分していない全社収益・全社費用の純額△50,172千円であります。

2. セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。